



第72号 R6.9 ~静岡県訪問看護ステーション協議会便り~

なやみは半分、よろこび倍増 さあ みんなで手をつなごう!!

ナイチンゲールの「時代に抵抗する精神」―私の来し方行く末―

順天堂大学 保健看護学部 客員教授 小川 典子

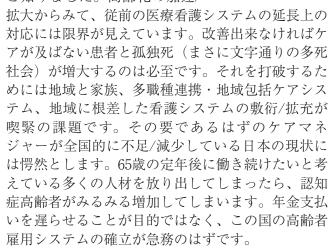
2010年に順天堂保健看護学部が三島に開設され、翌年から在宅看護学の専任教員として今年の3月末までの13年間、学部および大学院の教育、授業、実習、さらに大学で学ぶ家族介護教室等の地域活動を通して静岡県東部の保健医療福祉に関わってきました。日赤の大学院で小玉香津子先生に師事して1990年当時は誰も考えていなかったナイチンゲールの在宅看護についての概念を原文著作から網羅的に抽出し、日本への適用を考察しました。以来30年間在宅看護研究を続けています。

2020年にはナイチンゲール生誕200年記念出版の一部として「ナイチンゲールが描いた地域・在宅看護」が活字になりました。この本の構成には、ScienceとArtについて述べられているナイチンゲールの「Sick Nursing & Health Nursing」の全訳が第1部にあり、彼女が構想した「District Nurse」をこれまでの訳語「地域看護師」ではなく英国で現代まで続く「訪問看護師」と翻訳した画期的な1冊であり、訪問看護に携わるすべての人に薦めたいナイチンゲールの重要な在宅看護概念が詰まっています。

少子高齢化が進み、医療の中心が在宅へ転換されるという極めて今日的テーマが在宅看護領域です。新カリキュラム導入により専門分野となった在宅看護領域への期待はさらに高まっています。しかし医療・福祉分野は人材難で離職率が高く、看護の未来ビジョンには多角的グローバルな思考を生かす必要があると考えます。

人生100歳時代を迎えて「高齢者枠も70歳に引き上げへ」という議論も出てきていますが、私は65歳を機に、これまでに培った経験を生かしてケアマネジャーに再挑戦して、訪問看護師や医師との橋渡しになりたいと願っておりました。しかしケアマネ実務から遠ざかって5年以上研修を受けていない者は、再研修を受けなければケアマネ実務には就けず、さらに静岡県では年1回しか研修の機会がないためケ

アマネジャー再研修待ち人口も 多く、研修自体が争奪戦である と知りました。高齢化の加速/



「2025年問題」と言われた超高齢多死社会はもう 既に始まり、65歳以上人口は増え続けていますが、 生産年齢の働き手はどんどん減少しています。「最 期は自宅でしという日本人の自分らしい生き方およ び逝き方は、未曽有の超高齢多死社会のなかで、実 際には依然として病院で死を迎える人がほとんどで す。病院中心医療の60年間で死はタブーとなり、死 亡場所は自宅から病院へシフトしました。自分の死 をタブーとしないQOD (Quality of Death) という 古くて新しい在宅看取り概念の普及について地域社 会のなかで探求していきたいと考えています。自ら の逝き方を真剣に考えることは、まさに生きること を真剣に考えることに他なりません。ナイチンゲー ルの「時代に抵抗する精神」をささやかに持ち続け ている私には、日本社会は「ことなかれ主義」で 「具体的な考えに欠ける」「おざなりの小役人社会」 だと憤慨するナイチンゲールの姿が浮かんできます。 家族と地域社会による患者ケアシステムの具現化の ためには在宅看護が、これからの重要な SOLUTIONになると考えます。



令和6年度 通常総会

一般社団法人静岡県訪問看護ステーション協議会の令和6年度通常総会は、6月29日(土)に静岡県総合研修所もくせい会館にて開催されました。会員数は260事業所で、うち出席は110事業所、委任状は114事業所で、会員の過半数の出席をもって総会は成立致しました。皆様のご協力にお礼申し上げます。

総会では次の報告と議案が提案され、可決・承認されましたので、ご報告致します。

- 1. 令和5年度事業報告·決算報告
- 2. 令和5年度監查報告
- 3. 令和6年度一般社団法人静岡県訪問看護ステーション協議会理事
- 4. 令和6年度事業計画·予算

【令和6年度 一般社団法人静岡県訪問看護ステーション協議会役員紹介】

会	長	渡邊 昌子	聖隷クリストファー大学 看護学部看護学科 教授
副会	長	多田みゆき	看護リハビリケアステーションひより 業務部長
副会	長	福地 康紀	一般社団法人 静岡県医師会 副会長
理	事	立花 恒輔	一般社団法人 焼津市医師会 理事
理	事	望月 征美	訪問看護ステーションけいあい 統括所長
理	事	松原 久美	訪問看護ステーションあおぞら 所長
理	事	山田 裕子	訪問看護ステーション梅名の里 所長
理	事	眞野ゆうき	三島市医師会訪問看護ステーション 所長
理	事	松岡 有子	さくらんぼ訪問看護ステーション 所長
理	事	金丸 純子	ハートピアの森リハビリ訪問看護ステーション 所長
理	事	米沢 美和	訪問看護ステーションはとり 所長
理	事	吉口久美子	ニチイケアセンター焼津訪問看護ステーション 所長
理	事	工藤 成美	聖隷訪問看護ステーション富丘 所長
理	事	藤原 京子	訪問看護ステーション安間 所長
理	事	半場 公義	日赤訪問看護ステーション 所長
理	事	新井 晶子	ケアステーション明日香 所長
監	事	金木 昌之	一般社団法人 三島市医師会 理事
監	事	松井 順子	公益社団法人 静岡県看護協会 常務理事

東部支部長 望月 征美 中部支部長 松岡 有子 西部支部長 工藤 成美

広報委員 ◎金丸 純子、 眞野ゆうき、 半場 公義 ◎は各委員会の委員長

研修委員 ◎松原 久美、 米沢 美和、 新井 晶子

総務委員 ◎藤原 京子、 吉口久美子、 山田 裕子

企画委員 ◎松原 久美、米沢 美和、新井 晶子、藤原 京子

事務局 鈴木惠子(事務長)、白鳥江里佳、山本理恵、加藤飛鳥、後藤佳代子





全体研修会に参加して







訪問看護ステージョン天竜



大村 美紀子



阿部氏は自身の体験に基づき、東日本大震災当時 の状況を生々しく語りました。

「あの日、気管切開で吸引が必要な方のお宅で地 震に遭いました。充電式の吸引器を手配し、その後 安否確認に訪問しました。その帰りに運河沿いの道 を車で進んでいると、1~2分後には見たことのな い光景が広がっていました。水が追ってくる中、 人々がこちらに向かって走ってくるのです。車を降 り、反対方向に向かって走って逃げました。『死ぬ』 と思い、死の恐怖と悔しさでいっぱいでした。その 時、松の木に高齢のご夫婦がいて『一緒につかまり なさい』と言われ一緒につかまりました。その瞬間、 左右上下を波が一気に流れていく感覚があり、目を 開けた時には周囲は瓦礫に覆われ、まるで戦場のよ うな光景が広がっていました。」

東日本大震災から13年が過ぎ、今年の元日には能 登半島地震が発生しました。震災は忘れた頃にやっ てきて、いつ来るか分からないものです。ですから、 伝えていただいた教訓を忘れず、平常時からの備え が重要になります。平常時の対応として、①人的資 源②物的資源③財務資源④情報資源⑤利用者の視点 に分けた確認と対策が必要となります。⑤では医療 依存度の高い利用者ほど災害時の具体的な行動計画 をイメージすることが大切です。

静岡県訪問看護ステーション協議会の事業で、8 か所がモデル地区として、訪問看護事業所間での連 携体制構築を進めてきました。当ステーションもこ の事業に参加し、天竜・浜名地区のステーションで 顔の見える関係ができました。大雨の際はLINE WORKSで近隣の道の状況など情報交換を行ってい ます。当ステーションが所在する天竜区は森林が地 区の60%を占め、大雨による土砂崩れが頻発する地 域です。訪問職員の平常時の備えとしては防災 リュックの携帯、ガソリン半分で満タン、災害伝言 テーマ:「事業継続のための災害時の備え

~平常時からの備えについて~」

師:阿部まなみ氏

(宮城県大崎市 大崎ひまわり訪問看護

ステーション 所長)

開催日時:令和6年6月29日(土) 16:00~17:30 場:静岡県総合研修所「もくせい会館」富士ホール

参加者:134名

ダイヤル訓練を定期的に行っています。訪問エリア が広いため、事務所から片道40kmというお宅もあり ます。もちろん事務所と気象状況が違います。連絡 サポートができても、その場の状況はその場にいる 職員でないとわかりません。近頃は線状降水帯の発 生で、小さな河川や側溝が容易に氾濫し、冠水する ことが増えています。そのため平常時からスタッフ が防災意識を高め、いざという時に困らないための 準備をしておくことが大切だと考えています。

今年度も天竜・浜名地区連携において、災害を想 定した連絡訓練と、それに合わせて各ステーション で安否連絡訓練とアクションカードを使った訓練を 予定しています。そして今年度、浜松市のステー ション連絡協議会では、自然災害におけるBCPにつ いて学習を進めていく予定です。

災害の体験を踏まえて最終的に必要なことは、心 の回復力をもつこと(レジリエンス=逆境や困難、 強いストレスに直面した時に、適応する精神力と心 理的プロセス)と伺いました。できたら災害には遭 わず平穏でいたい。しかし、私たちの職業は命に関 わる場面や人との関係性の中でストレスを感じ、困 難にぶつかることが多いと思います。災害時のみな らず、常にレジリエンスマッスルを鍛えられるよう、 取り組みたいものです。

阿部氏から紹介された3.11の冊子には、震災対応 のためのステーション準備として、赤字で記載があ りました。~津波てんでんこ~は三陸地方の言い伝 えで、地震があったら家族のことさえ気にせず、て んでばらばらに自分の命を守るために1人ですぐ避 難し、一家全滅・共倒れを防げという教訓です。 「自分の命は自分で守る」職員各自が防災意識を高 めると同時に、職員を事業所で支える体制を作りた いと思います。



ステーション紹介

京部 ウェルズ訪問看護ステーション

渡部 砂由

こんにちは。私たちウェルズは看護師10名+理学療法士1名のにぎやかなステーションです。三島市の南端に位置し、北は長泉、西は沼津、南は伊豆長岡までの訪問をしています。母体は社会福祉法人ウェルネスケアです。理事長がドクターのためALSなど医療保険の訪問が多いのが特徴です。また、小児の方から高齢の方まで幅広く、レスピ管理・PICCやポート管理・ストマケア・褥瘡ケア・入浴介助・ADL維持リハビリなど「どんなケースにも対応できるようになる」というのが目標です。

受け持ち制ではないので、十人十色の観察眼や気づき・看護でケアを展開していけるのが強みです。「どんな病態からこの症状や苦痛が出ているのか?」「治療や看護で他に何か考えられることやできることはないか?」「自分はこんな方法でケアしているが、みんなはもっと良い方法でやっているかも?」などなど、いつもいろんな話が飛び交っています。どんなことでも話せたり、相談できる信頼関係とチームワークも自慢です。このチームワークに必要なのがワークバランスだと思います。私たち自身が身体も心も元気でリラックスしていなければ利用者にも伝わります。そんな時は、ちょっぴり弱ってい

る心や身体をお互いに看護(笑)してフォローしあい、休息できるように心掛けています。利用者にいつも優しく安らげる看護が提供できているといいなと思っています。

これからも、訪問中に見せる喜怒哀楽から真の感情を感じ取り、どんな時にも寄り添える訪問看護師となれるよう研鑽し、「ウェルズを選んでよかった」と言ってもらえる訪問看護ステーションを目指していきたいと思います。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

次は「訪問看護ステーションはな」さんです。



ぱるす訪問看護ステーション

河村 香苗

当ステーションは、ぱるす看護小規模多機能型居 宅介護で2018年に届け出をしている事業所です。拠 点を県立美術館近くに置き、清水区下清水町(清水 次郎長生家や少し行くと清水ドリームプラザなどが 近い)に訪問看護・リハビリのサテライトを設けて いるため、訪問範囲は広く清水区全域と葵区、駿河 区へ訪問しています。スタッフは看護師4名・理学 療法士2名・作業療法士1名です。

「利用者・家族のいつもそばに…医療・介護が一丸となり、24時間365日共に生きることを支援し、

その人らしい暮らしの実現の為に、利用者と家族を 支えていく事」の理念を基に、訪問看護を行ってい ます。訪問を楽しみに待って下さる利用者の笑顔や 安心したお顔が、私たちのモチベーションです。当 ステーションの特徴は、看護小規模多機能型居宅介 護との連携にあります。終末期をどのように過ごす かを迷われている方には、施設の利用もスムーズに することで、より安心してその人らしく、長く自宅 で過ごす事が出来るようにしたいと考えています。 利用者・家族の"できるだけ"を出来るように、思



いに寄り添う看護を心がけています。そして、私たちは利用者を中心として、指示を頂く医師やケアマネジャー、関係事業所や施設とも親密に協働できるように努めています。

社内ではDX化も推進しており、スタッフの働き 方やスタッフ間同士の情報共有、コミュニケーションにも配慮しています。また、会員制オンライン研修等も常設し、利用しています。毎朝のカンファレンスでは、スタッフ一人一人が前日の利用者の訪問時の様子を報告します。全員で全ての情報に耳を傾け、共有しています。そして、「こうしたらいいのではないか」「こうさせてもらおう」など、とても熱心に話し合っています。そんなスタッフの熱い思いに、心躍る毎日です。



次は「訪問看護ステーションわかば」さんです。

四部 訪問看護ステーション笠井

宝井 和己

こんにちは、訪問看護ステーション笠井です。東 名浜松の取り付け道路の近くにあります。2019年 「訪問看護笠井」として開設いたしました。看護師 6名、理学療法士6名、事務職員1名在籍していま す。浜松市全域をサービス提供地域として活動して います。リハビリテーションに特化しており、運動 器・地域理学療法・住環境コーディネーター・介護 予防運動指導員・認知症カウンセラーなど様々な資 格を持つスタッフが常駐しています。各種資格、研 修にも参加し、さらにスキルアップを目指していま



す。スタッフは子育で世代が多く、子供たちの成長を共有しながら安心して働ける場所です。30代から60代と年代に幅がありますが、ベテランスタッフの経験や知識、若いスタッフのエネルギー・行動力を活かし「チーム笠井」として躍進しています。各自タブレットを持参しており、訪問先で利用者情報を確認し、その場で共有することができます。医師ともLINE WORKS等でつながっており迅速な対応ができます。

スタッフの中には高齢の親を介護している者、すでに介護を終えた者もおり、医療面だけでなく精神面でも利用者・家族の気持ちを理解できることも大切な支援の一つと考えています。利用者や家族から「訪問看護を利用できてよかった」「介護の相談に乗ってもらって助かった」と喜びの声をいただいております。私たちも人生の先輩から豊富な人生経験・生き方を通して多くのことを学び、人として成長させていただいています。今後も24時間365日住み慣れた自宅で安心して過ごせるようサポートしていきたいです。

次は「訪問看護ステーション西山」さんです。



新卒から訪問看護ステーションで 働いている私たち

新卒で訪問看護の世界に飛び込み、頼もしく成長している仲間をご紹介します!



◎訪問看護ステーション細江 榎土 瑞穂さん(2016年度)

大学時代、訪問看護師になりたいという思いはありましたが、不安もあり迷っていた私に、大学の先生から「利用者が育ててくれるから大丈夫」と背中を押してもらいました。利用者は新人だからといって区別することはなく暖かく迎えて下さいました。職場には、新人と共に成長していくという職場風土が根付いていました。勤務年数を重ねましたが、初心や周囲の方々への感謝を忘れずにこれからも訪問看護を続けていきたいです。





◎聖隷訪問看護ステーション千本 野﨑 里佳さん(2019年度)

新卒で訪問看護に<mark>飛び込んで6年目</mark>となりました。初めは病棟に就職した同期との 差を感じ、自分の判断や観察力に自信がなく一人での訪問が不安でしたが、経験を積 むことで自信を持って判断し利用者と向き合えるようになりました。先輩方に助けて 頂くことも多いですが、この仕事・職場が自分に合っているなと思います。

今後も利用者や家族と丁寧に関わり、信頼してもらえる存在になりたいです。





◎ノエルイースト訪問看護ステーション 池田 明日香さん(2019年度)

私は、様々な利用者やその家族の在宅での暮らしに触れることができるのが、訪問看護ステーションで働く強みだと感じます。利用者が、住み慣れた自宅で幸せそうに生活する姿を新人の頃から見てきたことが、自分のモチベーションにもなりました。そして、どういう看護をしたら、よりQOLが上がるのかを考える力が身についたと思います。





◎ノエルイースト訪問看護ステーション 奥村 夏葉さん(2021年度)

始めの頃は、周りのスタッフを見て、自分に同じような事ができるのか不安な思いがありました。しかし経験を重ねる中で、不安が少しずつ自信に変わり、自分のスタイルを見つけていくことができるようになりました。また、経験も知識も豊富なスタッフが周りにいてくれることはとても心強く、相談しやすい環境が、より様々なことへ挑戦する勇気を与えてくれています。以前までは不安だった当番も、今では積極的にできていることが驚きです。





◎訪問看護ステーション住吉 下平 美雨さん(2022年度)

3年目になり「あなたが来てくれると安心する」と言ってもらえる訪問が増え、やりがいを感じています。最近は、ターミナル期の同行訪問で初めて人の死に触れ、心が揺さぶられる体験をしました。先輩のようなアセスメント力をつけ、家族に寄り添えるようになりたいと強く感じました。今は緊急携帯への対応や、小児や精神疾患をお持ちの方への訪問も増えたため不安もありますが、成長につながる喜びを感じます。今後も日々精進していきたいと思います。







◎訪問看護ステーション細江 田中 友海さん(2022年度)

訪問看護ステーションで働く中で楽しいと感じることは、身体、精神、社会的に考えると同時に生活全般のアセスメントをすることです。訪問では、一人で対処しなければならない場面が多くあります。そのような場面で利用者の状態とともに、生活面を支えるために何ができるのか等をアセスメントすることが、今までの知識や経験を活かせる瞬間でとても楽しいと感じます。





◎聖隷訪問看護ステーション千本 福岡 久美さん(2023年度)

新卒で就職し二年目に入りました。教育体制がしっかりしている事や、新卒で入職 した先輩が頑張っていることを知り、訪問看護の道へ進みました。

初めは不安な事も多かったですが、所長や経験豊富な先輩方のご指導のもと、同行訪問を重ねて自分のタイミングで独り立ちできました。今では訪問する楽しさや学ぶ楽しさを感じながら、日々の業務にあたっています。ステーションの一員として、日々精進していきたいと思います。





◎フィット訪問看護ステーション蒲 山﨑 彩葉さん(2023年度)

2023年4月に新卒で入職し、先輩方のフォローのもと、2年目になりました。私が感じている訪問看護の主な魅力には、利用者それぞれの価値観を知り、その方に合った支援ができることがあります。利用者によって状態や状況、ニーズが様々であり、正解がないことに難しさを感じています。知識と経験を積み重ね、工夫をしながらその方にとって最適な選択肢を提案できるよう努めていきたいです。





◎ラポールあい訪問看護ステーション 永沼 伶菜さん(2024年度)

現在、先輩ナースに同行し訪問しています。訪問先で利用者から「早く1人で来れるようになってね」と声をかけていただくたびに、嬉しいと同時に身が引き締まる思いです。

今は経験・知識・技術も乏しく専門用語や薬の名前、ケアなど、日々学ぶことばかりですが、早く独り立ちして利用者・家族の暮らしが、より良いものになるよう努めたいと思っています。更に日々学びを深めていきたいと思います!





◎つどいのおか訪問看護ステーション 遠藤 莉子さん(2020年度)

ただいま育児休暇中の遠藤莉子さん。ママを見つめる瞳がたまりません♡





研修のお知らせ

◆**訪問看護就業セミナー** 一人でも多くの方にご参加いただけるよう、積極的な周知にご協力お願いします。

地[Z		開催日	会 場	
1년[^	1 ⊟目	2 ⊟ 目	3 ⊟ 目	会場
		9 / 18 (水)	実習: 1、3日目の間で、 希望日に3時間 程度の同行訪問	9 / 25 (水)	三島市民活動センター(三島市)
東	部	10 / 17 (木)		10 / 24 (木)	御殿場市民会館 (御殿場市)
		11 / 7 (木)		11 / 14 (木)	富士市ロゼシアター (富士市)
		9 / 27 (金)		10 / 4 (金)	清水テルサ小会議1(静岡市清水区)
中	部	10 / 22 (火)		11 / 1 (金)	あざれあ第3研修室(静岡市駿河区)
		11 / 28 (木)		12 / 5 (木)	ウェルシップやいづ (焼津市)
	部	9 / 26 (木)		10 / 10 (木)	浜松市子育て情報センター(浜松市中区)
西		10 / 23 (水)		11 / 6 (水)	中部ふくしあ (掛川市)
		11 / 27 (水)		12 / 11 (水)	なゆた浜北(浜松市浜名区)

◆経営・開設セミナー 申込締切は各日程の5日前まで。

セミナー	開催日時	会 場
経営セミナー	12月17日(火) 10:00~16:00	もくせい会館第5会議室
開設セミナー	12月3日(火) 13:30~16:00	もくせい会館第5会議室

◆訪問看護指示書等研修

訪問看護指示書等を交付する医療機関に勤務するすべての医師を対象に、訪問看護のしくみと訪問看護指示書の書き方について研修します。詳細は決まり次第ご案内する予定です。

参加方法	開催日時	会場
会場参加	12日21日(土) 15:00~16:00	静岡県医師会館4階講堂
Web参加	12月21日(土) 15:00~16:00	Zoom ウェビナー使用



猛暑が続く中、地震や台 風などの自然の猛威にも負 けず、みなさま毎日の訪問 おつかれさまです。自身の 身を守るため、日々の備え を心掛けていきましょう。



シェイクハンドNo.72 2024年9月発行

発行所 一般社団法人 静岡県訪問看護ステーション協議会 〒420-0839

静岡市葵区鷹匠3丁目6番3号

静岡県医師会館4階 Tel 054-297-3311

Fax 054-297-3312 e-mail sizuokahoumonst@cy.tnc.ne.jp

発行人 渡邊 昌子

眞野ゆうき (三島市医師会訪問看護ステーション) 東部 金丸 純子 (ハートピアの森リハビリ調け種ステーション) 中部 半場 公義 (日赤訪問看護ステーション) 西部